

千葉市美術館コレクション選

特集 鷺見和紀郎

2025年1月8日|水|—4月6日|日|

休室日:2月3日(月)、3月3日(月)

開館時間:10:00–18:00(金、土曜日は20:00まで)※入場受付は閉館の30分前まで

観覧料:一般300円、大学生220円 ※小・中学生・高校生、千葉県内にお住まいの65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※同時開催の企画展をご観覧の方は無料

会場:千葉市美術館5階常設展示室

主催:千葉市美術館

January 8–April 6, 2025

Closed: February 3, March 3

Hours: 10:00–18:00 (Fridays and Saturdays until 20:00)

* Last admission is 30 minutes before closing

Admission: Adults ¥300 / College students ¥220 / Other students (high school and younger) / Chiba prefecture residents age 65 and older, free

* Persons with disabilities are admitted free of charge along with one attendant

* Free for holders of tickets to special exhibitions

Venue: Chiba City Museum of Art, Collection Gallery

Organized by Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
3-10-8 Chuo, Chuo-ku, Chiba 260-0013, Japan
tel.043-221-2311
<https://www.ccma-net.jp>

千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

Selection from the CCMA Collection

Special Edition: **SUMI Wakiro**

千葉市美術館コレクション選 特集 鷺見和紀郎

Selection from the CCMA Collection Special Edition: SUMI Wakiro



1.



2.



3.



4.

1.《Work M-2 Stolichnaya》1984年 千葉市美術館蔵 2.《Stolichnaya》1984年 作家蔵 3.《Work M-3 Stolovaya》1985年 千葉市美術館蔵 4.《Veil-IV (セル・テイラーに捧ぐ)》1994年 千葉市美術館蔵
作品画像：© Wakiro Sumi Photo by Tadasu Yamamoto (1,3,4)

千葉市美術館 5階の常設展示室・現代美術コーナーでは、千葉県在住の美術作家・鷺見和紀郎(1950-)を特集します。

1970年代に渡米しニューヨークに滞在した鷺見は、アメリカで隆盛を極めた抽象表現主義やミニマル・アートを再解釈し、1980年代に自身の作品表現を拡張させていきます。ブロンズ鑄造による大型の彫刻や、絵具にワックスを混ぜ塗り重ねる絵画など、壁や橋の造形的な要素に水の流動的な要素が加えられたそれらの作品には、インスタレーションとしての空間への意識が見出されます。鷺見は1994年に、皮膜のような表面を特徴とする「ヴェール(Veil)」シリーズを発表しました。「世界はヴェールでできている」という作家独自の思想は、彫刻の回帰を思わせる2000年以降の多様な展開へ繋がっていきます。

本特集では、2023年度に新たに収蔵された1980、90年代の代表作となる彫刻を中心に、表層をめくり今日まで継続されてきた鷺見和紀郎の造形表現を、特別出品作を加え展観します。

鷺見和紀郎 SUMI Wakiro



Photo by Tatsuhiko Nakagawa

1950年岐阜県生まれ。1972年富士見町アトリエBゼミ修了。三木富雄のアシスタントを経て、1976年に渡米、ニューヨーク滞在。1986-87年にフランス文化省の招聘によりマルセイユ他で制作、展示。1999-2000年に文化庁特別派遣芸術家在外研修員としてリヨン(フランス)に滞在。2018年にインゼル・ホンプロイヒ財団(ドイツ)にて滞在制作を行う。主な個展に「鷺見和紀郎 brilliant corners」(BankART KAIKO、神奈川、2022年)、「鷺見和紀郎 光の回廊」(神奈川県立近代美術館、2007年)など。主なパブリック・コレクションに東京国立近代美術館、資生堂アートハウス、府中市美術館、神奈川県立近代美術館、佐久市立近代美術館、豊田市美術館、愛知県美術館、千葉市美術館など。

JR千葉駅東口から
徒歩約15分/バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分/千葉都市モノレール県庁前方面行「葦川公園駅」下車徒歩約5分

京成千葉中央駅東口から
徒歩約10分

東京方面から車で
京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

・地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)。
・シェアサイクルスポットがあります。

同時開催

8・7階 企画展示室

「ザ・キャビンカンパニー大給本美術展〈童堂賛歌〉」

2024年11月16日(土)–2025年1月13日(月・祝)

「第56回 千葉市民美術展覧会」

「コレクション展 房総ゆかりの作家たち 特集展示:金子周次と船崎光治郎」

2025年2月22日(土)–3月14日(金)

「プラチスラバからやってきた!世界の絵本パレード」

「ノック ノック! 千葉市美術館をたのしむ4つの扉」

2025年3月22日(土)–5月18日(日)

4階 子どもアトリエ

「つくりかけラボ16 金川晋吾! 知らないうちにはじまっていて、いつ終わるのかわからない」

2024年10月12日(土)–2025年1月26日(日) 観覧料:無料

「つくりかけラボ17 井上尚子! 記憶の標本室 —Life is Smell project—KUNKUN Laboratory」

2025年2月12日(水)–6月1日(日) 観覧料:無料

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
3-10-8 Chuo, Chiba City, Chiba 260-0013, Japan
Tel. 043-221-2311(代表) <https://www.ccma-net.jp>



※内容が変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。